

当院にて顔面非対称で手術による矯正治療をされた患者様へ

この度、東京歯科大学歯科矯正学講座において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みにになり研究へご協力くださいますようお願いいたします。

1. 研究課題名

顔面非対称を伴う骨格性下顎前突患者における
術前・術後の下顎骨の位置変化と咀嚼筋形態との関連性の検討

2. 研究目的

顎の手術を受けられた患者様の手術後の矯正治療を行うにあたり、手術後の顎の位置の変化量、方向は予測することが困難です。そこでこの研究では、顎の手術を受けられた患者様の手術前と手術後のCTデータを使用し、咀嚼に関与する筋肉と手術後の顎の位置の変化量を計測することで、顎の位置の変化量、方向の予測を可能にすることです。その結果を今後の患者様の治療の計画に反映させることを目的としています。

3. 研究方法

研究に必要となるものは、手術を受けられた患者様のCTデータです。(これらを資料といいます)。この資料は、すでに治療のために取ったものを使用するため新たに取る必要はありません。条件は、2002年4月1日から2017年3月31日の間の期間で骨格性下顎前突と診断され、その他条件に当てはまる患者様60名分の資料です。選んだ資料をいろいろな角度から計り、立体的な形を検査します。研究場所は、当大学歯科矯正学講座です。

4. 個人情報の取り扱い

患者様の資料は、試料保管庫に厳重に管理されております。この中から研究に必要な資料を取り出しますが、顔や歯並びの値のみ記録しますので、住所、氏名などの患者様の個人が特定される情報が入ることはありません。また研究に使用する資料は、研究責任者が責任を持って管理し、この研究以外で使用することはございません。

5. 研究に関する情報公開の方法

本研究の成果は、学会や専門誌などに発表される場合がありますが、名前や個人が特定される個人情報とは公開されることはありません。

6. 研究協力者に生じる利益および不利益

本研究はすでにある患者様のレントゲン写真、CT および歯型を使用しますので、研究による不利益はございません。

7. 本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

8. 本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

9. 本研究への参加を希望されない場合は、その旨を研究責任者へお申し出ください。参加を希望されない場合でも、患者様が不利益になることはございません。

お問い合わせ先

東京歯科大学歯科矯正学講座

研究責任者 末石 研二

連絡先 043-270-3903